

日本・韓国共同シンポジウム

2008年7月に文科省が学習指導要領の解説書に竹島/独島を記述したために、日本と韓国の関係が悪化し、民間交流が中断されるなど様々な問題が起こっています。

竹島/独島とは何でしょうか。この問題は領土問題である以上に、歴史問題です。この問題で韓国人は関心が高いですが、日本は無関心な人が多いようです。

また、日本人の竹島/独島問題認識はとても低いといわれています。

そんな中で、政府は「竹島は日本の固有の領土」だと主張し、これを教科書に書かせようとしています。

私たち、日本と韓国の市民組織は、この問題について、日韓の友好がいつそう促進されるように平和的な解決の道を、冷静な議論によって追求する必要があると考えています。その出発点として、このシンポジウムを共同企画しました。

パネリスト

日本： 池内 敏（名古屋大学教授）

俵 義文（子どもと教科書全国ネット21事務局長）

韓国： 許 英 蘭（ホ・ヨンラン、蔚山大学助教授）

李 信 澈（イ・シンチョル、アジアの平和と歴史教育

連帯共同運営委員長）

日時：2009年 **2月21日**（土） 13時～17時

場所：明治大学アカデミーコモン9F309B教室
（JR・地下鉄御茶ノ水駅徒歩5分、裏面地図参照）

資料代 800円

主催：日本・子どもと教科書全国ネット21
韓国・アジアの平和と歴史教育連帯
後援：歴史教育者協議会

連絡先：子どもと教科書全国ネット21

TEL・03-3265-7606 Fax・03-3239-8590

竹島／独島問題の平和的解決をめざして

竹島/独島問題の平和的解決をめざして 日韓共同シンポジウム

日時：2009年2月21日 会場：明治大学アカデミーコモン9F3098教室

プログラム

司会&コーディネーター 大山早苗（子どもと教科書全国ネット21 常任運営委員）

通訳：襄 鈴 美（ペ・ヨンミ、一橋大学大学院生）

130名

13:00 開場 13:30 開会

開会挨拶 東本久子（子どもと教科書全国ネット21 常任運営委員）

パネリストなどの紹介（司会）

◇講演 池内 敏（名古屋大学教授）

許 英 蘭（ホ・ヨンラン、蔚山大学助教授）

休憩（15:15頃） ※質問・意見用紙を受付にお出し下さい

◆報告 俵 義文（子どもと教科書全国ネット21 事務局長）

李 信 澈（イ・シンチョル、成均館大学東アジア学術院研究教授、
アジアの平和と歴史教育連帯・対外協力委員長）

☆コメント 河 棕 文（ハ・ジョンムン、韓神大学教授、

アジアの平和と歴史教育連帯・対外協力委員長）

石山 久男（前歴史教育者協議会委員長）

質問の答えて 各パネリスト

閉会挨拶 梁 美 康（ヤン・ミガン、アジアの平和と歴史教育連帯・共同運営委員長）

17:30 閉会

※報告者など以外の韓国からの参加者

姜 惠 楨（カン・ヘジョン、アジアの平和と歴史教育連帯・国際協力委員長、国際通・翻訳専門家）

崔 喆 鎬（チェ・チョルホ、アジアの平和と歴史教育連帯・青少年教育委員長、ソウル銻女子中学校教員）

許 美 善（ホ・ミソン、アジアの平和と歴史教育連帯・事務局長）

金 占 勛（キム・ジョング、独島守護隊代表）

鄭 銀 定（ジョン・ウンジョン、東北亜歴史財団）

李 明 贊（イ・ミョンチャン、東北亜歴史財団）

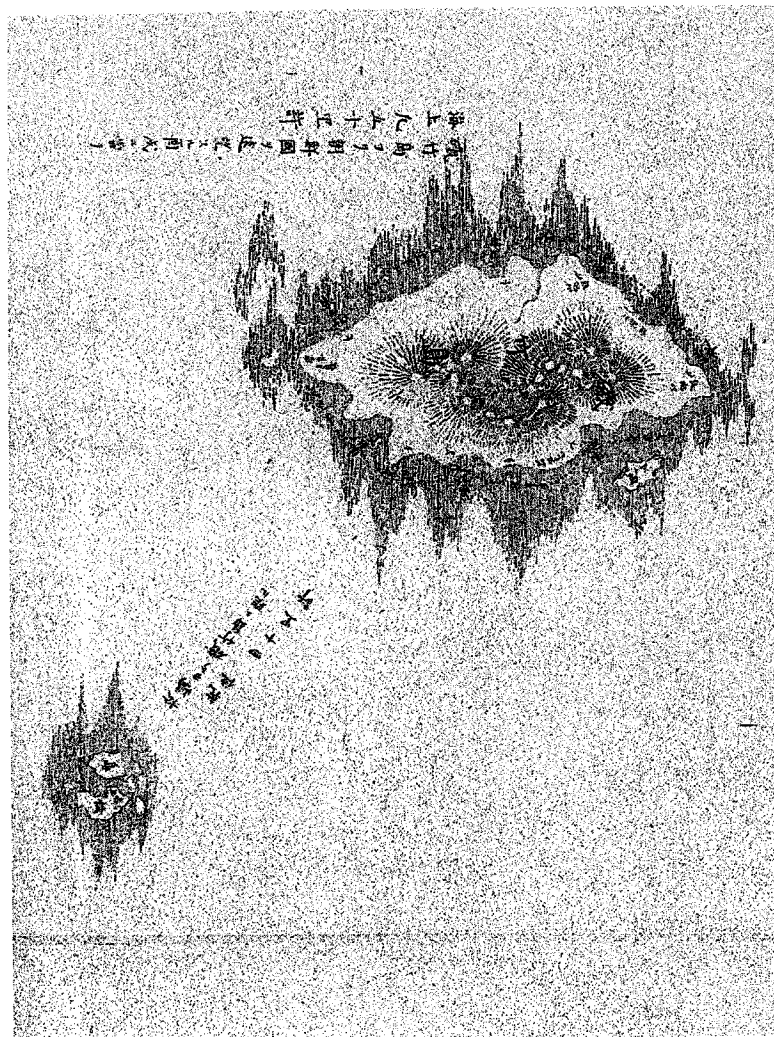
（裏面に資料があります）

◆竹島関係の島の名称について

- ・江戸時代に日本人が「竹島」と呼んでいたのは「鬱陵島」である。現在の竹島は、当時、「松島」と呼ばれていた。
- ・1849年、フランスの捕鯨船が現竹島を「リアンコール岩」と命名した。これが西洋の海図でも使われ、日本でも「リアンコ島」と呼ばれるようになった。
- ・1877年3月29日、明治政府は太政官（今の内閣）指令で「日本海内竹島外一島ヲ版図外ト定ム」（竹島（鬱陵島）外一島は日本の領土ではない）と決定。（「外一島」については下記の資料参照）
- ・1905年1月28日、明治政府はリアンコ島を「無主地」として領土編入を閣議決定し、「竹島」と命名した。同年2月22日、島根県告示40号、「竹島」を島根県隠岐島司の所管とする。

*太政官決定の「外一島」は「松島」（現「竹島」）のことだと示す公文書
国立公文書館に太政官決定と一緒に下記の「磯竹島略図」が保存されている

325 第V章 資 料



竹島、松島付近の拡大図
『公文録』付属「磯竹島略図」（国立公文書館所蔵）